

岡山市入札外部審議委員会の概要

平成30年度第3回岡山市入札外部審議委員会（以下「審議委員会」という。）を下記のとおり開催しましたので、その概要についてお知らせいたします。

記

1 開催日

平成30年11月5日（月） 午前10時00分から午前11時10分

2 開催場所

岡山市水道局 6階 研修室

3 出席委員（敬称略 五十音順）

岡崎 優子，齊藤 政子，中川 豊隆，的場 真介，和田 治郎

4 事務局

（1）岡山市

仁藤財務部長，道広契約課長，内海工事契約担当課長，大月契約課課長補佐（管理係長），
大木契約課物品契約係長，堀井契約課指導係長，川上契約課工事契約係長
渡邊消防企画総務課消防士長，大迫消防企画総務課消防士長，黒石契約課副主査，島契約
課副主査

（2）水道局

西井水道局次長（総務部長），國富管財課長，御幡管財課課長補佐，児子管財課契約係長，
小西管財課副主査，松井管財課主任

5 会議次第

（1）開会

（2）議題

1 岡山市抽出事案について

（1）物品契約

（2）工事契約

2 岡山市水道局抽出事案について

（1）工事契約

(2) 役務契約

3 その他

6 会議概要

1 「岡山市消防団防火衣上衣ベルト付ほか5件について

委員：同じような物が発注されているので、一括発注すればもう少し値段的にもなんとかなるんじゃないか。まとめることは本当にできないのか。個人の採寸だとかは分ける理由にならないと思う。

市当局：採寸に時間がかかること、縫製に時間がかかることが制約条件になり、まとめて受注した時には供給ができないということだ。

委員：1番とか3番は落札率が98%を超えている。あまり競争が働いていないのではないか。

市当局：過去の事例から許容価格を出しており、毎年同じような物の発注をしているため、だいたい単価の予測がつくことになる。

委員：毎年発注していると、ほかの業者が応札しにくくなるのか。

市当局：防火着は耐火性とか特殊な素材になるので、応札できる業者がどうしても限られてくる。

委員：数量は十分足りているのか。後で過不足が生じたりしないのか。

市当局：消防職員の被服は職員個人の装備品であり、それぞれ更新期間が定められている。職員の自己管理のもとで今年度注文する物を検討し頼んでいるため、余りや不足は生じない。消防団の被服についても、例年の平均的な入退団数を含めて発注しており、過不足はない。

2 市道菅野84号線ほか緊急道路整備工事ほか2件について

委員：こういう事故が起こったらこの業者に頼むという大体のシナリオが担当課にはあるのか。

市当局：一番近い業者や実績の有無といった基準の中で個別に判断している。この場所が被災すればこの業者とイメージできている所もあれば、依頼する業者が全くイメージできていない場所もある

委員：本当に全てを単独随契にする必要があったのか。

市当局：一つ目の工事については、池の堤が崩壊して集落が孤立し、一日でも早く車で買い物に行ったり通勤したりできる生活を回復してあげる必要があるということで、入札の手続期間を短縮するために随意契約という手法をとった。二つ目の案件は迂回路が無い幹線道路であり、1日も早い道路の解放が必要であった。三つ目についても実際家の中に土が流れ込み、家の中の土は撤去しているものの、生活あるいは財産が失われるおそれがあり、安全、安心という観点からも速やかに解放する必要があると判断した。いずれも契約手続の期間を短縮するために随意契約したものである。

委員：期間を縮めるために随契契約したのはよく分かった。落札率について、一般競争入札については80%前半の案件も数々多いという認識だが、緊急性を要した時は大体10%以上落札率が高くなる。緊急だから10%は仕方ないのか。

市当局：緊急だから仕方がないという部分もあるが、今回の工事は着手を早くするため全て概算発注している。結果的に落札率が高いのはやむを得ないと判断している。

委員：落札率が10%違うのは大きい。普通の一般競争入札の時の業者の利益率を把握できない限り、出す側もずっとこの水準で出さざるを得ない気がする。受ける側も緊急の時は単独随契できて価格は一般の時より高いということが身についている可能性もある。そのへんは解消というか、何らかの調査がいるのではないか。

市当局：業者側の利益という視点よりは、個別に緊急性があるかで判断しており、随意契約はどうしても早くしないといけないものに限って運用している。災害時は速やかに着手してくれる業者を見つけるのが一番のポイントになっているのが実態である。

委員：どの工事もだいたい4カ月ぐらいかかっているが、業者と市で協議して決めているのか。

市当局：市で示した工程に基づいて工期を定めている。概算発注のため、若干進捗が計画とずれている所がある。

委員：今回の大雨では約束どおり3～4日ぐらいで着手できているのか。手がつけられなかった部分があったように聞いている。

市当局：土木工事は比較的速やかに着手してもらえたと感じている。建築系の工事、学校の体育館の床を張り替えるとか、学校の教室の床を張り替えるとかについては、緊急で随意契約しようにもやってもらえる業者が見つからないといったこともあった。業種によって状況が異なる。

3 東岡山配水池圧力調整弁及び計装盤取替工事について

委員：資料中「上水道事業とは水道用水供給事業を含むが、専用水道は含まない。」というのはどういうことか。

市当局：水道用水供給事業とは、通常「水の卸売」と言っており、岡山県広域水道企業団、岡山県南部水道企業団のように各水道事業体に水を卸売するのが水道用水供給事業というものである。専用水道とは、個人が自家用の浄水場を作って自分の関係のところに給水をするようなものが専用水道である。

委員：この案件は1者入札だ。ほかの業者がこの競争に絡んでこられる可能性はあるのか。

市当局：ほかの業者がこの工事に参加する可能性は十分あったと思う。今回の工事は公告日が7月4日、開札日が7月20日ということで、ちょうど7月豪雨の時期と重なっていたことも影響しているのではと考えている。

4 局内LAN用パソコン賃貸借(H30更新分)について

委員：落札率が非常に低いが、正常な利益はとれるのか。或いは何か別の意図があってこういう低い落札価格になったのか。

市当局：OA機器については、見積もりを3者程度取り寄せ、一番安いところからさらに落として許容価格を設定している。いざ入札となるとかなり落としてくるケースが過去の例でもあるが、利益はあると聞いている。

委員：落札率がすごく低い。例えば70%、80%でも落札してしまうわけで、見積もりのところで何かそういったことが起きないような方法は無いのか。

市当局：まず標準価格を調べ、それが1台20万～30万くらい。見積もりはかなり落としてきてそこからさらに落として許容価格を設定する。当然海外メーカーの価格もWEBで調べるが、それよりもさらに低い価格だ。許容価格の設定はかなり難しい。

委員：パソコンの賃貸借契約には付随的な契約が見込めるのか。実績を作っておけば後何かおいしい話がつくことはないのか。

市当局：ほかの業務はリース会社には委託していないので、ない。

委員：許容価格が高すぎるのではないか。

市当局：結果として落札率が低くなっているが、あくまでも決められた手順に従った結果だ。今回たまたま低い落札率だったが、次回も続く保証はない。我々の仕様書に定められた物を先方が納入してもらえば、落札率が低ければ低いほどいい訳で、我々としては安くてよかったというのが実感だ。

委員：他の自治体の落札状況について情報を集めた方がいいのではないか。これが90%で落ちてると、過去2回落ちていたのになぜかとなる。許容価格設定の際、過去の情報とか直近の他の地公体等での事例等々の情報を把握した上でという方法がとれないのか。

委員長：技術的に難しいところがあるかもしれないが、業者と行政の知恵比べみたいなのところもある。引き続き努力してもらいたい。

（終了）